BS9S65G-1103

セイコーウオッチ株式会社

本　社　〒105-8467 東京都港区虎ノ門2-8-10
http://www.seiko-watch.co.jp

GS Grand Seiko

MECHANICAL

9S65
取扱説明書
INSTRUCTION

SEIKO

このたびはグランドセイコーをお買い上げいただき
誠にありがとうございます。
SEIKOでは、時計づくり100有余年の伝統と、
世界に誇る先進技術のすべてを注ぎ、
製造・検査を実施しております。
グランドセイコーの優れた性能を保ち、
正しく安全にお使いいただくために、
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
末長くご愛用下さいますようお願い申し上げます。

この取扱説明書はお手もとに保管いただき、必要に応じてご覧ください。

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります

製品取扱上のご注意

⚠警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

・次のような場合、ご使用を中止してください
　○時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
　○バンドのピンが飛び出してきた場合
　※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください
　部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
　万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

⚠注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

・以下の場所での携帯・保管は避けてください
　○揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
　○5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ
　○高湿度なところ
　○磁気や静電気の影響があるところ
　○ホコリの多いところ
　○強い振動のあるところ

・アレルギーやかぶれを起こした場合
　ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

・その他のご注意
　○金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
　　手や指などをケガする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
　○商品の分解・改造はしないでください。
　○乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
　　ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。

⚠警告

この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください

BAR（気圧）表示防水時計はスキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる苛酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウオッチをご使用ください。

⚠注意

直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

⚠注意

水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。

※ 万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
　お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。

水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。

入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

目 次

操作について

グランドセイコー規格について

ご注意いただきたいこと

製品の特長

この時計は、グランドセイコー専用キャリバー9S65を搭載した自動巻機械式時計です。

・巻き上げ方式は自動巻で、手首に装着して使用いただく間の通常の腕の自然な動きによって充分に巻き上がるような構造を採用しています。また、手巻機構も併せて備えていますので、始動時等にぜんまいを巻き足したい時に便利です。

⇒「ぜんまいの巻き方」についてはP.11をご覧ください。

・ぜんまいを充分に巻き上げた状態から、約72時間以上動き続けます。

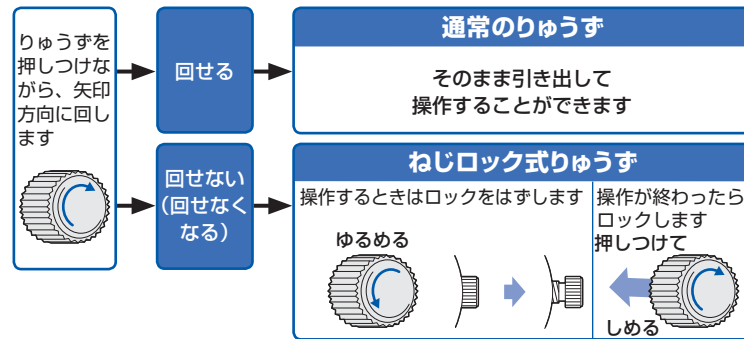
・グランドセイコー機械式時計は、卓越した技能を持つ専任の職人によって丁寧に組立て及び調整作業が施され、セイコー独自の機械式時計の精度規格である「グランドセイコー規格」に基づく17日間にわたる厳しい検定試験に合格したもののみが完成品として出荷されております。

⇒「グランドセイコー規格」について詳細はP.18～22をご覧ください。

各部の名称

ご 使 用 方 法

りゅうずについて

りゅうずには、通常のものとロックできる構造のものの、2つのタイプがあります。
お使いの時計のりゅうずをご確認ください。

※ ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。
※ ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

ぜんまいの巻き方

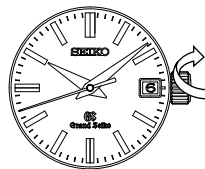
- この時計は、自動巻式機械時計（手巻つき）です。
- ぜんまいは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。またりゅうずを回してもぜんまいを巻くこともできます。
- 止まっている時計をお使いになるときは、時計を振っても動き出しますが、りゅうずをまわしぜんまいが十分に巻かれた状態にしまして、日付けと時刻を合わせてから腕にお付けください。ぜんまいを巻く際には、りゅうず0段位置で右方向（12時方向）にゆっくりとまわしてください。なお、りゅうずは左方向（6時方向）では空回りするようになっています。りゅうずを約60回転すれば十分に巻き上げることができます。また、ぜんまいはフル巻上げ状態でぜんまいがスリップするようになっており、ぜんまいを切る心配はありませんが過剰な操作はお控えください。
- ぜんまいが十分に巻き上げられた状態での可動時間は約72時間です。

※ぜんまいの巻き上げ量が不足しますと進み遅れの原因になりますので、1日10時間以上携帯することをお勧めします。また、時計を腕につけないでご使用される場合は、毎日一定の時刻にりゅうずをまわしぜんまいを十分に巻いてご使用ください。

ぜんまいの巻き方

※ぜんまいが解けて止まった状態からお使いの場合、りゅうずでぜんまいを巻き上げても直ぐには動きません。機械式時計の特徴でぜんまい巻き始めのぜんまいトルク（力）が弱いためです。ぜんまいが巻かれてある程度の強いトルクに達すると秒針が動き始めますが、早めに動かすためには、時計を振りてんぷを強制的に回転させることで動かすことができます。

りゅうずは引き出さないでください。
（ねじロック式の場合は、ロックを解除してください）

りゅうずを右（12時方向）にゆっくり回して、ぜんまいを巻き上げます。

・ぜんまいがフル巻上げに近付くと、りゅうずの回転が多少重くなりますが、これは巻上げられたぜんまいの反発力によるものですので異常ではありません。
・フル巻上げの状態からも更にりゅうずを回すことができる構造ですので、ぜんまいを切る心配はありませんが過剰な操作はお控えください。

ご注意　ねじロック式の場合は、必ずりゅうずを元通りに締めてください。

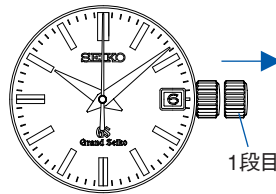
時刻・日付の合わせ方

この時計には、日付表示機能がついています。24時間に1回日付を一日分送るようになっています。
日付は、「午前0時」ごろ送るようになっています。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、お昼の「12」時ごろに日付が変わってしまいます。

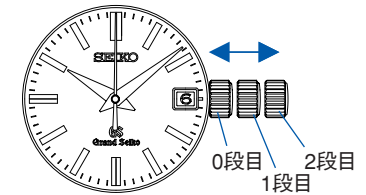
⚠ご注意

○時刻表示が午後10時から午前1時までの間、日付の修正をしないでください。
この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切り変わらないことや、故障の原因となる場合があります。

①りゅうずを1段目まで引き出してください。
（ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。）
②りゅうずを右方向（12時方向）に回すことで、日付の修正ができます。
まず、合わせたい日の前日の日付に合わせます。

（例）合わせる日付が「6日」の場合、「5日」に合わせます。
右方向（12時方向）に回すことで日付合わせが行えます。

③りゅうずを2段目まで引き出します。
秒針が「12時」の位置にきたときに引き出してください。（秒針が止まります。）
りゅうずを、針が進む方向にまわし、日付が今日の日付になるまでまわしてください。日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。
④時報と同時にりゅうずを0段目まで押し込むと動き出します。

※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

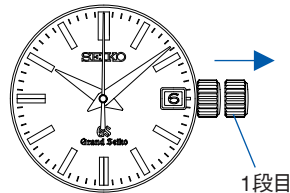
⚠ご注意

○ねじロック式りゅうずのモデルは、必ずりゅうずを元通りに締めてください。
○機械式時計は輪列の機構上、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

月末の日付修正について

2月（1カ月が28日、うるう年は29日）と小の月（1カ月が30日）では日付の修正が必要になります。

【例】小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合
「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを1段目に引き出してください。りゅうずを右回転させ、日付を「1日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。

1段目

⚠ご注意

○ねじロック式りゅうずのモデルは、必ずりゅうずを元通りに締めてください。
○時刻表示が午後10時から午前1時までの間、日付の修正をしないでください。
この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切り変わらないことや、故障の原因となる場合があります。

グランドセイコー規格について

グランドセイコー規格について

機械式時計の携帯使用時の精度は、ムーブメント（駆動体）構造上の理由により、使用される環境条件の違い（一日の腕の運動量によるぜんまいの巻上げ具合、温度環境、姿勢＝時計の向き　など）によって変化します。
「グランドセイコー規格」とは、時計が使用される環境条件の違いによらずに、グランドセイコー機械式時計の優れた性能を確認するために設定されたセイコー独自の機械式時計用精度規格です。
⇒「グランドセイコー規格」の詳細についてはP.18〜22をご覧ください。
すべてのグランドセイコー機械式時計は、この厳格な規格に基づく「グランドセイコー規格検定」に合格することを条件としております。ケース組込み前のムーブメント単体の状態で、製造工場内の人工的に管理された様々な環境下において合計17日間にわたって時間の進み／遅れ（日差）を計測し、それらの数値が基準内にあるもののみに「グランドセイコー」の称号が与えられます。

お客様が実際に携帯使用される場合の精度は、一日あたり−1〜＋10秒を目安としております。
携帯使用時の精度を正しく判断するには、一日のみではなく、通常のご使用状態で一週間から十日間程度お使いになって進み／遅れをみてください。
その一日あたりの平均値が上記目安の範囲を超える場合は、調整させていただきます。（ご購入後2年以内は無料、それ以降は有料。）また、次のような場合はご購入後の期間に関わらず有料対応とさせていただきます。

- 誤ったご使用方法や、磁気を帯びさせてしまう等、お客様の不注意により精度の狂いが乗じているとき
- 弊社以外での修理により精度の狂いが生じているとき
- 火災または水害・地震などの天災地変により精度の狂いが生じているとき
- 保証書の字句を書き換えられた場合

グランドセイコー規格の内容

項目	単位	規格値
平均日差	秒／日	−3.0 〜 ＋5.0
平均日較差	秒／日	1.8以下
最大日較差	秒／日	4.0以下
水平垂直差	秒／日	−6.0 〜 ＋8.0
最大姿勢偏差	秒／日	8.0以下
第一温度係数	秒／日／℃	−0.5 〜 ＋0.5
第二温度係数	秒／日／℃	−0.5 〜 ＋0.5
復元差	秒／日	−5.0 〜 ＋5.0
検定姿勢数		6 姿勢
検定温度		8 ℃、23℃、38℃
検定日数		17日間

グランドセイコー規格の用語説明

項目名	意味
検定姿勢	時計性能の様々なテストを実施するために、国際規格ISO3158で5方向の向きが規定されている。GS検定ではそれに加え、腕から外して時計を置いた状態を想定し、12時上姿勢を追加し6方向としている。（文字板上、文字板下、12時上、3時上、6時上、9時上）
平均日差	異なる6姿勢で各2日づつ実測した合計12の日差データの平均値のこと。時計の1日あたりの基本的な進み・遅れを示す目安だが、実際の精度実力は、他の項目を含めた総合的な判断が必要である。
平均日較差	異なる6姿勢で各2日づつ実測した際の1日目と2日目の日差の変化量6データの平均値のこと。各姿勢での日毎の精度がどの程度安定しているかを示している。
最大日較差	異なる6姿勢で各2日づつ実測した際の1日目と2日目の日差の変化量6データ中の最大値のこと。日毎の精度が、姿勢によって最大どの程度変化しているかを示している。

項目名	意味
水平垂直差	日常生活で最も使われると想定される2姿勢における進み・遅れを表す。時計を文字板上姿勢で置いた場合の2日間の平均日差と、6時上姿勢で置いた場合の2日間の平均日差との差。
最大姿勢偏差	試験初期の12日間の日差と、平均日差との差の最大値。時計の置き方により、日差がどの程度変化しているかを表す。
第一温度係数	同一姿勢（文字板上）において、38℃から8℃までの環境での1℃あたりの日差の変化量。時計が使用される温度環境（腕から外した状態を想定）での進み・遅れを示している。
第二温度係数	同一姿勢（文字板上）において、38℃から23℃までの環境で1℃あたりの日差の変化量。時計が使用される温度環境（腕に装着した状態を想定）での進み・遅れを示している。
復元差	検定最後の1日の日差から最初の2日間の平均日差を差し引いた値。時計をある一定期間使用後に、日差がどの程度安定しているかを表す。

グランドセイコー規格検定合格証明書について

・グランドセイコー規格検定合格証明書は、ケース組込み前のムーブメント単体の状態で、製造工場内の人工的に管理された環境の下で計測した実測値が、グランドセイコー規格検定に合格したことを証明するものです。搭載されている機種番号、個別のムーブメント製造連番およびケース製造連番が印字されています。
・機械式時計の携帯使用時の精度は、お客さまそれぞれのご使用条件（一日の腕の運動量によるぜんまいの巻上げ具合、温度環境、姿勢[時計の向き]など）によって変化するものです。従いまして、お客さまが実際に携帯使用される場合の精度はグランドセイコー規格に定められた各項目の数値とは異なることがあります。

⚠ご注意

グランドセイコー規格検定合格証明書を紛失された場合の再発行はできません。
また、時計を修理・調整した後の再発行もできません。

機械式時計の精度についてご注意事項

機械式時計はぜんまいが巻き解ける力を動力にして針を動かし、小さな金属部品同士が物理的に働き合って精度をコントロールする機構です。機械式時計の繊細な金属部品は、温度や重力、衝撃などの外部環境や、携帯時間やぜんまいの巻上げ量といった使用状況の影響を受けやすく、それが時計の進み／遅れとして現れてきます。

① 機械式時計の精度は「平均日差」

クオーツ時計の精度は月差±15秒や年差±10秒というように、月や年単位で表されます。これは、一ヶ月あるいは一年を通して使った場合にトータルの精度誤差がどの位であるかということを示しています。
これに対し機械式時計の精度は「平均日差」で表すのが一般的です。
機械式時計の精度は様々な使用環境の影響を受けて毎日微妙に変化し、一定していないのが普通です。そこで一日のみなく、一週間から十日間程度の使用した場合の平均値を見て精度の良し悪しを判断する必要があります。
キャリバー9S65搭載のグランドセイコー機械式時計の携帯使用時の精度は、一日あたり－1～＋10秒を目安としております。通常のご使用状態で、一週間から十日間程度お使いになった際の平均値がこの目安範囲を超えてしまう場合は、調整させていただきます。
＊ご購入後2年以内は無料、それ以降は有料。ただしご使用期間が長く、部品が経年劣化している場合にはご希望の精度に調整できないこともありますので予めご了承ください。 ⇒詳しくはP.18およびP.26をご覧ください。

機械式時計の精度についてご注意事項

② 精度に影響を与える要素：その1　ぜんまいの巻上げ量

機械式時計をより良い精度でお使いいただくためには、ぜんまいからなるべく一定した強いエネルギーが各部品に供給されることが必要です。
ぜんまいがいっぱいに巻き上げられている状態では精度も安定していますが、ぜんまいがほどけてきて供給されるエネルギーが弱まると、精度を制御する部品が外部からの影響を受けやすくなり、精度も不安定になります。
安定した精度でお使いいただくためには、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態でご使用することをお勧めします。

③ 精度に影響を与える要素：その2　温度の影響

機械式時計の部品は金属製なので、温度の変化によって微妙に伸び縮みし、それが精度に影響を与えます。
一般に高温下では遅れがちに、低温下では進みがちになります。

④ 精度に影響を与える要素：その3　姿勢（時計の向き）による差

機械式時計の精度に関わる部品は、地球の重力からも影響を受けています。例えば時計を水平にしたときと、12時側を上にして時計を立てて置いたときでは、進み・遅れが変わります。
時計を腕に着用しないときは、置きかたによって着用中に生じた精度の誤差をある程度補正することもできます。様々な向きをお試しになり、ご自分の時計に合う置き方を見つけてください。

ご注意いただきたいこと

アフターサービスについて

修理用部品について

○ グランドセイコーの修理用部品の保有期間は通常10年間を基準としております。
○ ご使用条件によっては、修理後の精度が元通りにならない場合もあります。
○ 修理の際、一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について

○ 長くご愛用いただくために、2～3年に一度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。この時計のムーブメントは、機構の性質上動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これらが、常に機能するためには、定期的な部分の洗浄、油の交換、精度の調整、機能チェック、消耗部品の交換などが大切です。特に、お買い上げ後2～3年目の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）を行うことが、長く使用するためには重要です。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、時計の進み、遅れが大きくなったり止まりにいたることがあります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。
○ 機種9S65の点検および点検調整のための分解掃除（オーバーホール）はメーカーにて行ないますので、ご依頼の際、お買い上げ店にはメーカーへ依頼するようお申し付けください。

○ 点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
○ 点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

保証と修理について

○ 修理や点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際は、お買い上げ店または弊社お客様相談窓口にご相談ください。

お願い

○ 適切な修理対応をさせていただくために、ご依頼時には必ずお買い上げ店または弊社お客様相談窓口に不具合の状況（1日に何秒遅れる／進むのか等）と、普段のご使用状況（通常の携帯時間、頻度、腕から外して置く時の時計の向き等）をお伝えくださいますようお願いします。

○ 取扱説明書にそった正常なご使用により、万一保証期間内に不具合が生じた場合には、お買い上げ店へ保証書を添えてお出しください。
○ 保証書は、内容を良くお読みいただき大切に保管してください。
○ その他、わからない点がありましたら、弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。
⇒ご連絡先は巻末に記載しております。

保証について

取扱説明書にそった正常なご使用により、保証期間内に不具合が生じた場合は、下記の保証規定によって無料で修理・調整いたします。

保証の対象部分

○ 時計本体（ムーブメント・ケース）および金属バンドです。

保証の適用外（保証期間あるいは保証対象部分であっても、次のような場合には有料になります）

○ 皮革・ウレタン・布などのバンドの交換
○ ご使用中に生じるケース、ガラス、バンドなどへのキズ・汚れなど
○ 事故または不適切な取扱いによって生じた故障および損傷
○ 火災・水害・地震等の天災地変による故障および損傷
○ 保証書の字句を書き換えられた場合
○ 保証書のご提示がない場合

保証を受ける手続き

○ 不具合が生じた場合は、時計に必ず保証書を添えてご持参の上、お買い上げ店にご依頼ください。
○ ご贈答、転居などによりお買い上げ店での保証が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口に保証書を添えてご依頼ください。

その他

○ 修理の際、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替品を使用する場合があります。修理用部品の保有期間はP.26「修理用部品について」をご参照ください。
○ 金属バンドなどの調整は、お買い上げ店または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。その他の販売店では有料もしくはお取り扱いいただけない場合があります。
○ 保証は、保証書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お手入れについて

●日ごろからこまめにお手入れしてください

・りゅうずを引き出して洗わないでください。
・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
※「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。
→ 性能と型式について　P.31　防水性能について　P.32

●りゅうずは時々回してください

・りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
・ねじロック式りゅうずの場合も同様です。　→ りゅうずについて　P.10

時計の裏ぶたでも性能と型式の確認ができます

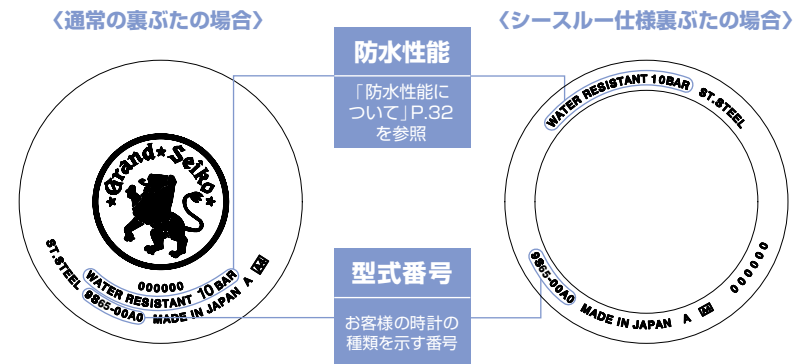
〈通常の裏ぶたの場合〉

〈シースルー仕様裏ぶたの場合〉

防水性能

「防水性能について」P.32を参照

型式番号

お客様の時計の種類を示す番号

※上記の図は例であり、お買上げいただいた時計とは異なる場合があります。

防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。

（「P.31」をご覧ください）

裏ぶた表示	防水性能
防水性能表示なし	非防水です。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。
WATER RESISTANT 10（20）BAR	日常生活用強化防水で10（20）気圧防水です。

お取扱方法	
水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。	
日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。	⚠ 警告　水泳には使用しないで下さい。
水泳などのスポーツに使用できます。	
空気ボンベを使用しないスキンダイビングに使用できます。	

耐磁性能について（磁気の影響）

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より５ｃｍ以上遠ざける必要があります。（JIS１種）
∩̲	
∩̳	磁気製品より１ｃｍ以上遠ざける必要があります。（JIS2種）

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているひげぜんまいが、外からの強い磁力の影響を受けます。

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例

携帯電話（スピーカー部）

ACアダプター

バッグ（磁石の止め金）

交流電気かみそり

電磁調理器

携帯ラジオ（スピーカー部）

磁気ネックレス

磁気健康枕

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

●金属バンド

・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。）残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
・万が一、ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

●皮革バンド

・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
・水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
・時計本体が日常生活用強化防水１０（20）気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

●ポリウレタンバンド

・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。）
・弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間（約10分間:500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約3時間～5時間）発光します。光が当たらなくなってから輝度（明るさ）は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。（目の暗順応）
※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）塗料です。

<照度のめやすについて>

環　境		明るさ（照度）のめやす
太陽光	晴れ	100,000ルクス
	くもり	10,000ルクス
屋内（昼間窓際）	晴れ	3,000ルクス以上
	くもり	1,000～3,000ルクス
	雨	1,000ルクス以下
照明（白色蛍光灯40Wの下で）	1m	1,000ルクス
	3m	500ルクス（通常室内レベル）
	4m	250ルクス

こんな時には

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。	ぜんまいが巻かれていない。	ぜんまいを手で巻くか、または数回振れば動き出します。それでも、動かない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
時計が一時的に進む／遅れる。	暑いところまたは寒いところに長く置いた。	精度は、常温にもどれば元にもどります。
	磁気を発生するもののそばに置いた。	精度は、磁気の発生するものから放せば元にもどります。元にもどらない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。強い振動が加えられた。	精度は、元にもどりません。お買い上げ店にご相談ください。
	3年を越える長期間、分解掃除による点検調整を行っていない。	お買い上げ店にご相談ください。
日付が日中に変わる。	時刻合わせが12時間ずれている。	12時間、針を進めて時刻および日付を合わせ直してください。
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

製品仕様（ムーブメント関係）

機　　種	9S65
基本機能	時針、分針、秒針、日付表示
振　動　数	28,800振動／時間（8振動／秒）
精　　度	平均日差*　－3秒～+5秒
駆動方式	ぜんまい巻〈自動巻（手巻つき）〉
持続時間	最大巻上時約72時間以上
使用石数	35石

平均日差*：ケース組み込み前のムーブメントを6姿勢で12日間、人工的に管理された環境下に固定して測定した日差の平均値です。
ご注意・ご使用になる条件（携帯時間、温度環境、巻上げ具合等）によっては、上記精度の範囲を超える場合がありますので、実際に携帯使用される場合の精度は一日あたり－1～＋10秒を目安としております。
※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

Thank you for purchasing our Grand Seiko product.
For more than 100 years of timepiece making tradition and the advancement of world-class technology,
Seiko has devoted its efforts to watch manufacturing and inspections. In order to maintain superior performance and proper and safe use of the Grand Seiko,
please read the instruction manual carefully before use.
We thank you in advance for long time regular use of our product.

Keep this manual handy for easy reference as necessary.

*Length adjustment service for metallic bands is available at the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER. The service may also be available on a chargeable basis at other retailers, however, some retailers may not undertake the service.

Handling cautions

⚠WARNING

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.

・Immediately stop wearing the watch in following cases.

◯If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
◯If the pins protrude from the band.
※ Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.

・Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children.

Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the accessories.
If a baby or child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.

⚠CAUTION

To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.

・Avoid the following places for wearing or keeping the watch.

◯Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
◯Places where the temperature drops below 5℃ or rises above 35℃ for a long time
◯Places of high humidity
◯Places affected by strong magnetism or static electricity
◯Dusty places
◯Places affected by strong vibrations

・If you observe any allergic symptoms or skin irritation

Stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist

・Other cautions

◯For adjusting the length of the metal bracelet, specialized knowledge and expertise are necessary. Therefore, in such a case, contact the retailer from whom the watch was purchased. If you attempt to adjust the metal bracelet, injury may occur to your hand or fingers, or parts of the bracelet may be lost.
◯Do not disassemble or tamper with the watch.
◯Keep the watch out of the reach of babies and children.
Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.

⚠WARNING

Do not use the watch in scuba diving or saturation diving.

The various tightened inspections under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches for diving.

⚠CAUTION

Do not pour running water directly from faucet.

The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.

⚠CAUTION

Do not turn or pull out the crown when the watch is wet.

Water may get inside of the watch.

※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTMER SERVICE CENTER (listed on the end of a book).

Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time.

Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.

Do not wear the watch while taking a bath or a sauna.

Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.

CONTENTS

HOW TO USE

GRAND SEIKO STANDARD

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

Product features

This is an automatic mechanical watch mounted with a caliber 9S65 exclusively for Grand Seiko.

・The winding method is automatic, employing a structure so that it is sufficiently wound by natural movement of the wrist while normally worn on the wrist. In addition, a manual winding mechanism is equipped, which is convenient for winding the mainspring when starting, etc.

⇒ For "HOW TO WIND THE MAINSPRING," refer to page 51.

・From the state of the mainspring being sufficiently wound, it continuously operates for 72 hours or more.

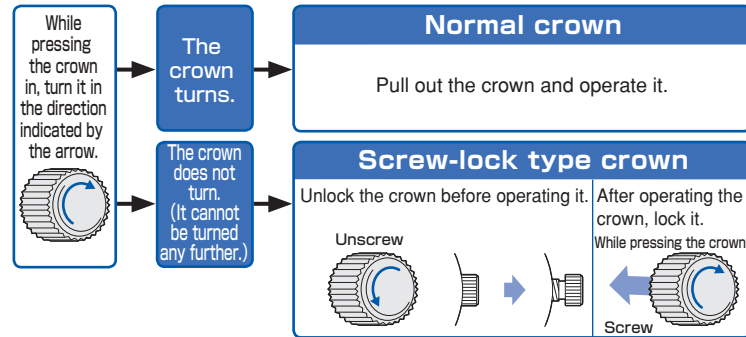
・For Grand Seiko mechanical watches, only completed products are shipped which have been carefully assembled and adjusted by dedicated craftsmen, and passed by exacting certification examinations which continue for 17 days according to the "Grand Seiko Standard," Seiko's exclusive accuracy standard of mechanical watches.

⇒ For details of the "Grand Seiko Standard," refer to pages 58 to 62.

Names of the parts

HOW TO USE

Crown

There are two types of crowns, a normal crown and a screw-lock crown.

※ If your watch has a screw-lock crown, the crown screws into the watch to prevent malfunction and increase water resistance.

※ Be careful not to screw the crown in by force as it may damage the slots of the crown.

How to wind the mainspring

This watch is an automatic winding type (with manual winding function).

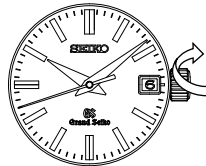
- The mainspring can be sufficiently wound automatically by natural movement of the arm while normally worn on the wrist. In addition, it can be wound by turning the crown.
- A stopped watch can be started by arm movement when it is worn on the wrist, however, before wearing the watch, wind the mainspring sufficiently and adjust the time and date. When turning the mainspring, turn the crown at the normal position clockwise (12 o'clock direction) slowly. If you turn the crown counterclockwise (6 o'clock direction), it will turn free. The mainspring is sufficiently wound when the crown is turned approximately 60 times. When the mainspring is in the full-winding state, it is structured so that the mainspring slips if it is wound. Therefore, it is not necessary to worry about cutting the mainspring, however, please refrain from excessive operation.
- From the state of the mainspring being sufficiently wound, it continuously operates for approximately 72 hours or more.

※It is recommended that you wear the watch on your wrist more than 10 hours a day to keep the mainspring wound up. If the mainspring is not wound up sufficiently, the watch may lose or gain time. If you do not wear the watch on your wrist, wind the mainspring up sufficiently by turning the crown by hand every day at a fixed time.

How to wind the mainspring

※When the watch is used from a state in which the mainspring is unwound to a stop, it does not move immediately even if the mainspring is wound with the winding crown. This is because of the mechanical watch's feature that the mainspring torque (force) is weak at the beginning of mainspring winding. The second hand starts moving when the mainspring is wound to reach a certain degree of torque strength, while the watch can be made to move advance by shaking it to rotate the balance wheel forcibly.

Do not pull out the crown
(In the case of a screw lock type crown, release the lock.)

Slowly turn the crown clockwise to wind the mainspring.

- When the mainspring approaches full-winding, turning of the crown is heavy more or less, however, this is caused by reaction force of the wound mainspring, which is not defective.
- It is structured so that the crown can be further turned in the full-winding state. Although it is not necessary to worry about cutting the mainspring, refrain from excessive turning.

Note For models with a screw lock type crown, make sure to screw the crown up again after winding the mainspring

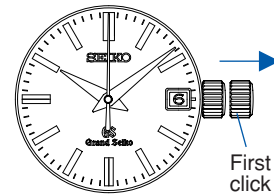
How to set the time and date

This watch is equipped with the date display function. The date changes once every 24 hours at around 12 o'clock a.m. Therefore, if the a.m./p.m. is incorrectly set, the date will change around 12 o'clock p.m.

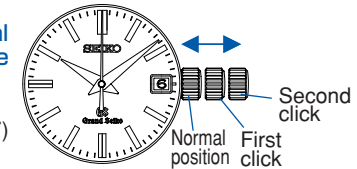
⚠CAUTION

◯Do not adjust the date between 10 o'clock p.m. and 1 o'clock a.m. If the date is adjusted during this period of time, the date may not change when the next day comes, or this may cause damage.

①Pull out the crown to the first click. (If the watch is equipped with the screw lock type crown, unscrew the crown before pulling it out.)
②The date can be adjusted by turning the crown clockwise (12 o'clock direction). First turn the crown clockwise until the previous day's date from the desired date appears.

(Ex.) If you want to set the date to "6," set the date to "5" by turning the crown clockwise.

③Pull out the crown to the second click when the second hand is at the 12 o'clock position. (The second hand stops.) Turn the crown clockwise until the desired date appears. When the date changes, the time is a.m. Further turn the crown to set the current time.

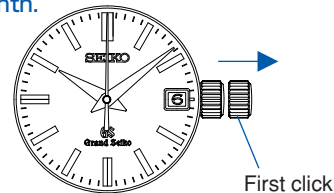
④Push the crown back in to the normal position in accordance with a time signal. The watch starts operating.

※The telephone time signal service (Tel. 117) is convenient to set the date.

⚠CAUTION

○For models with a screw lock type crown, always screw the crown up again after setting the time and date.
○Due to its wheel train mechanism, for setting the time of the mechanical watch correctly, the hands should be set back once slightly and then set forward to the correct time.

Date adjustment at the end of the month

It is necessary to adjust the date after February (which has 28 days, 29 days in a leap year) and a 30 day month.

【Ex.】On the first day of a 30 day month, "31" is displayed. Pull out the crown to the first click. Turn the crown clockwise to set the date to "1," and push the crown back in to the normal position.

⚠CAUTION

○For models with a screw lock type crown, always screw the crown up again after setting the date.
○Do not adjust the date between 10 o'clock p.m. and 1 o'clock a.m. If the date is adjusted during this period of time, the date may not change when the next day comes, or this may cause damage.

GRAND SEIKO STANDARD

Grand Seiko standard

Due to the movement（driving body）structure, normal usage accuracy of a mechanical watch varies according to differences in environmental conditions of use such as winding state of the mainspring by movement amount of the wrist per day, temperature environment, and position = orientation of a watch.
"Grand Seiko Standard" is a Seiko-exclusive accuracy standard for mechanical watches, which has been established to check superior performance of Grand Seiko mechanical watches irrespective of differences in environmental conditions of use in which a watch is used.
For details of the "Grand Seiko Standard," refer to pages 58 to 62.
It is conditioned that all of Grand Seiko mechanical watches are to be passed by the "Grand Seiko Standard Examination" according to the exacting standard.Only products, in which the movement single unit before assembly in a case is measured for gain/loss（daily rate）under various environments which are artificially controlled in the manufacturing plant for 17 days in total, and the measured values fall under the standard range, are given the title of "Grand Seiko."

For normal usage accuracy when the watch is actually used by a customer, -1 to 10 seconds per day are specified as target values.
To properly judge the accuracy in the case of normal usage, check gain/loss by using for a week to ten days, not only for one day, in normal use condition.
If the mean value per day exceeds the above-mentioned target range, we will adjust the watch.（Adjustment is provided free of charge within two years after purchase. After the two-year period, adjustments are charged.） We will respond to the following cases at cost regardless of the period of time after purchase.

・Disorder in accuracy has occurred due to customer's carelessness such as, incorrect usage method or magnetizing the watch.
・Disorder in accuracy has occurred due to repair by another company.
・Disorder in accuracy has occurred due to natural disasters such as fire, flood or earthquake.
・Guaranteed conditions have been altered.

Description of Grand Seiko Standard

Item	Unit	Standard
Mean daily rate in different positions	Second/date	−3.0 ～ +5.0
Mean variation	Second/date	Less than 1.8
Maximum variation	Second/date	Less than 4.0
Difference between flat and hanging position	Second/date	−6.0 ～ +8.0
Greatest difference between the mean daily rate and any	Second/date	Less than 8.0
First variation of rate per 1℃ （from 38℃ to 8℃）	Second/date /℃	−0.5 ～ +0.5
Second variation of rate per 1℃（from 38℃ to 8℃）	Second/date /℃	−0.5 ～ +0.5
Rate-resumption	Second/date	−5.0 ～ +5.0
Number of positions in inspection		6 positions
Condition of temperature in inspection		8, 23,38℃
Total days of inspection		17 days

Description of Grand Seiko Standard Terminology

Item	Meaning
Position in inspection	5 orientations are specified by the International Standard ISO3158 so as to carry out various kinds of tests for time keeping. In addition thereto, in the GS examination, 12 o'clock Up position in the state where a watch taken off the wrist is placed, is added, 6 orientations are specified.（Dial Up, Dial Down, 12 o'clock Up, 3 o'clock Up, 6 o'clock Up, and 9 o'clock Up）
Mean daily rate	Mean value of a total of 12 daily rates measured in 6 different positions, respectively, for two days. This is a target value indicating basic gain/loss per day of a watch, however, it is required to comprehensively judge the actual accuracy performance in consideration of other items.
Mean variation	Mean value of a total of 6 variations of daily rates between the first day and second day when measured in 6 different positions for two days each. It indicates the degree which daily accuracy stabilizes in each position.
Maximum variation	Maximum value of a total of 6 variations of daily rates between the first day and second day when measured in 6 different positions for two days each. It indicates the degree which accuracy per day changes at maximum according to positions.

Item	Meaning
Difference between flat and hanging position	Indicates gain/loss in two positions at which a watch is most frequently used in daily life. It is a difference between mean daily rates for two days when a watch is placed in the dial Up position and mean daily rates for two days when a watch is placed in the 6 o'clock Up position.
Greatest difference between the mean daily rate and any individual rate	Maximum difference value between daily rates for twelve days in the test initial stage and mean daily rates. It indicates the degree at which the daily rate varies according to the manner for placing a watch.
First variation of rate per 1℃（between 38℃ and 8℃）	Variation in daily rates per 1℃ between 38℃ and 8℃ in the same position（Dial Up position）. It indicates gain/loss in the temperature environment（taken-off state from the wrist）where a watch is used.
Second variation of rate per 1℃（between 38℃ and 23℃）	Variation of daily rates per 1℃ between 38℃ and 23℃ in the same position（Dial Up position）. It indicates gain/loss in the temperature environment（worn state of the wrist）where a watch is used.
Rate-resumption	Value obtained by subtracting mean daily rates of initial two days from daily rate of the last examination day. It indicates the degree at which daily rate stabilizes after usage for a predetermined period.

Grand Seiko standard examination certificate

- Grand Seiko Standard Examination Certificate certifies the values of a movement single unit before assembly in a case which were measured under an artificially controlled environment in the manufacturing plant have passed the Grand Seiko Standard Examination. The certificate is printed with the caliber number, movement serial number, and case serial number.
- Normal usage accuracy of mechanical watches varies according to respective customer conditions of use (winding state of the mainspring by movement amount of the wrist per day, temperature environment, and position (orientation of a watch.) Accordingly, the actual normal usage accuracy when it is used by a customer may differ from the value of each item specified in the Grand Seiko Standard.

⚠CAUTION

The Grand Seiko Standard Examination Certificate cannot be reissued when it has been lost. Also, it cannot be reissued after repair or adjustment.

Cautions for accuracy of mechanical watch

Mechanical watches have a mechanism that is moved by power generated when the mainspring is unwound, and small metal parts physically work together to control the accuracy. Fragile metal parts of a mechanical watch are easily influenced by external environment such as temperature, gravity, and shock, and conditions of use such as normal usage time and winding state of the mainspring, therefore, this influence appears as gain/loss of the watch.

① Accuracy of mechanical watch is "mean daily rate."

Accuracy of the quartz watch is indicated monthly or annually such as a monthly rate of ±15 seconds or annual rate of ±10 seconds. This indicates the degree of total difference in accuracy when the quartz watch is continuously used for a month or a year. To the contrary, accuracy of the mechanical watch is normally indicated as a "mean daily rate." Accuracy of the mechanical watch slightly varies each day as it is influenced by various conditions of use, and it is normally unstable. Then it is required to judge whether the accuracy is satisfactory or not by checking the mean values in the case of use for a week to ten days, but not for only one day. For normal usage accuracy of Grand Seiko mechanical watch mounted with a caliber 9S65, -1 to 10 seconds per day are specified as target values. If the mean value exceeds the above-mentioned target value in the normal usage condition when the watch is used for a week to ten days, we will adjust it.

＊Adjustment is provided free of charge within two years after purchase. After the two-year period, adjustments are charged. However, please note that the parts that are age-deteriorated due to long duration of use may not be adjusted to your desired accuracy.

⇒For details, refer to pages 58 and 66.

② Factor influencing accuracy -1 : Wound amount of the mainspring

In order to use the mechanical watch at better accuracies, it is required to supply a constant strong energy wherever possible to respective parts. In the state where the mainspring is fully wound, accuracy is stable, however, when the mainspring is unwound to weaken energy to be supplied, the parts controlling accuracy tends to be externally influenced, and accuracy becomes unstable. In order to use a mechanical watch at a steady accuracy, it is recommended to use it in a condition where the mainspring is sufficiently wound.

③ Factor influencing accuracy -2 : Temperature influence

Mechanical watch parts are metal which slightly elongate and contract by change in temperature, and this influences accuracy. Normally, under high temperatures, it tends to lose time, and under low temperatures, it tends to gain time.

④ Factor influencing accuracy -3 : Difference by position (orientation of a watch)

Parts related to accuracy of a mechanical watch are also influenced by the earth's gravity. For example, gain or loss differs when a watch is horizontally placed and when it is vertically placed in the 12 o'clock up position. When the watch is not worn on the wrist, accuracy errors that occur while wearing can also be compensated to some extent according to the position. Try to place it in various positions to find the position appropriate to your watch.

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

After-sale service

Repair parts

○ The repair parts of this watch will be retained usually for 10 years.
○ Depending on conditions of use, accuracy may not be recovered after the watch has been repaired.
○ Some alternative parts may be used for repair if necessary.

Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul)

○ Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) is recommended approximately once every 2 to 3 years in order to maintain optimal performance of the watch for a long time. The power transmission gear of the movement of this watch constantly receives force. To ensure that this mechanism works properly all the time, washing parts, changing oil, adjusting accuracy, checking functions and replacing consumable parts on a regular basis are important. Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) within 2 to 3 years from the date of purchase is highly recommended for long-time use of your watch. According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate, abrasion of the parts due to contamination of oil may advance or delay the time significantly, or the watch itself may stop. As the parts such as gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture.
○ Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) of the model 9S65 will be performed by the Manufacturer. When you take the watch to the retailer from whom it was

purchased, request that the watch be inspected and overhauled by the Manufacturer.
○ For periodic inspection and overhaul, also request replacement of the gasket and push pin with new ones
○ When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul), make sure that the gasket and push pin are also replaced with new ones.

Repair and Guarantee

○ Contact the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER for repair or overhaul.

Request
○ For appropriate repair, be sure to inform the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER the nonconforming state (what seconds are lost/gained per day, etc.,) and normal usage condition (normal usage time, frequency, orientation at which the watch is placed while taken off the wrist, etc.)

○ If your watch gets out of order with the correct way of use as described in this instruction booklet within the guarantee period, take your watch to the retailer from whom your watch was purchased together with the certificate of guarantee.
○ Guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee. Read carefully and retain it.
○ For any other questions, contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
⇒Refer to the contact information listed on the back of this booklet.

Guarantee

Within the guarantee period, we guarantee free repair/adjustment service against any defects according to the following guarantee regulations, provided that the watch was properly used as directed in this instruction booklet.

Guarantee coverage

○ The watch body (movement, case) and metallic band.

Exceptions from guarantee

In following cases, repair/adjustment services will be provided at cost even within the guarantee period or under guarantee coverage.

○ Exchange of leather, urethane, or fabric band
○ Troubles or damage to the case, glass, or band, caused by accidents or improper usage
○ Scratches or grime caused by use
○ Troubles and damage caused by acts of god, natural disasters including fire, floods or earthquakes.
○ Text in certificate has been altered.
○ No certificate is presented.

Procedure to claim free repair services

○ For any defects under guarantee, submit the watch together with the attached certificate of guarantee to the retailer from whom the watch was purchased.
○ In the case where you cannot accept the guarantee from the retailer from whom the watch was purchased due to gift-giving or relocation, etc., ask SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER by attaching the certificate without fail.

Others

○ For the watch case, dial plate, hands, glass, band etc., some alternative parts may be used for repair if necessary. Refer to page 66 of this booklet for retention period of the parts.
○ For length adjustment service of metallic band, ask the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER. Other retailer may undertake the service on a chargeable basis or may not undertake the service.
○ Free repair services are guaranteed only under the period and conditions specified in the certificate of guarantee. It dose not affect specific legal rights of a consumer.

Daily care

●The watch requires good daily care

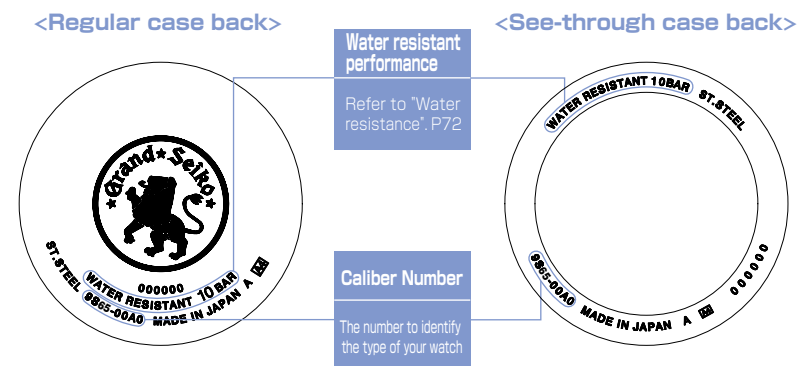
○ Do not wash the watch when its crown is at the extended position.
○ Wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth
○ To clean the clearances (around the metallic band, crown or case back), a soft toothbrush is convenient.
○ After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.
※ If your watch is rated as "non-water resistant" or "water resistant for daily use," do not wash the watch.

Performance and type → page 71.
Water resistance → page 72.

●Turn the crown from time to time

○ In order to prevent corrosion of the crown, turn the crown from time to time.
・ The same practice should be applied to a screw lock type crown.
(No need to pull out the screw lock type crown.)

Crown → page 50.

The case back shows the caliber and performance of your watch

※The above figures are examples. Both of them may be different from the figure on the case back of your watch.

Water resistance

Refer the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.

(Refer to page 71 for checking the case back.)

Indication on the case back	Water resistant performance
NO INDICATION	Non-water resistance
WATER RESISTANT	Water resistance for everyday life
WATER RESISTANT 10BAR	Water resistance for everyday life at 10 barometric pressures
WATER RESISTANT 20BAR	Water resistance for everyday life at 20 barometric pressures.

Condition of Use
Avoid drops of water or sweat
The watch withstands accidental contact with water in everyday life. ⚠WARNING Not suitable for swimming
The watch is suitable for diving not using an air cylinder.
The watch is suitable for diving not using an air cylinder.

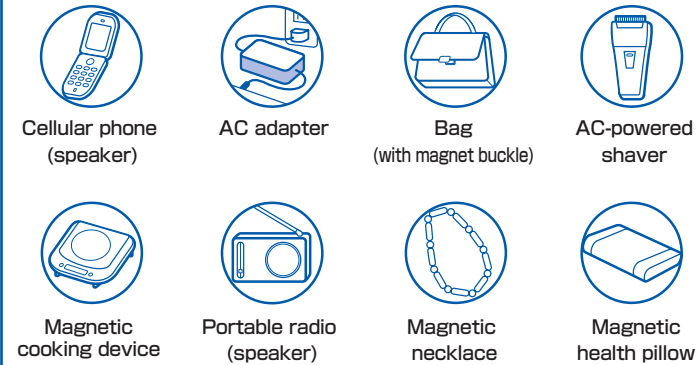
Magnetic resistance

Affected by nearby magnetism,
a watch may temporarily gain or lose time or stop operating.

Indication on the case back	Condition of use
No indication	Keep the watch more than 5 cm away from magnetic products. (JIS level-1 standard)
∩̲	
∩̳	Keep the watch more than 1 cm away from magnetic products. (JIS level-2 standard)

If the watch becomes magnetized and its accuracy deteriorates to an extent exceeding the specified rate under normal use, the watch needs to be demagnetized. In this case, you will be charged for demagnetization and accuracy readjustment even if it happens within the guarantee period.
The reason why watch is affected by magnetism
The built-in balance spring is provided with a magnet, which may be influenced by a strong external magnetic field.

Examples of common magnetic products that may affect watches

Cellular phone (speaker)
AC adapter
Bag (with magnet buckle)
AC-powered shaver
Magnetic cooking device
Portable radio (speaker)
Magnetic necklace
Magnetic health pillow

Band

The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust.
Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge. The watch requires a lot of attention for long usage.

●Metallic band

- Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.
- Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.
- Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible
- To clean the soil around the joint gaps of the band, wipe it out in water and then brush it off with a soft toothbrush.
  （Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.）
- Because some titan bracelets use pins made of stainless steel, which has outstanding strength, rust may form in the stainless steel parts.
- If rust advances, pins may poke out or drop out, and the watch case may fall off the bracelet, or the clasp may not open.
- If a pin is poking out, personal injury may result. In such a case, refrain from using the watch and request repair.

●Leather band

- A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.
- Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.
- Do not expose the watch to direct sunlight for a long time.
- Please take care when wearing a watch with light-colored band, as dirt is likely to show up.
- Refrain from wearing a leather band watch other than Aqua Free bands while bathing, swimming, and when working with water even if the watch itself is water-resistant enforced for daily use （10-BAR water resistant）.

●Polyurethane band

- A polyurethane band is susceptible to discoloration from light, and may be deteriorated by solvent or atmospheric humidity.
- Especially a translucent, white, or pale colored band easily adsorbs other colors, resulting in color smears or discoloration.
- Wash out dirt in water and clean it off with a dry cloth.
  （Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.）
- When the band becomes less flexible, have the band replaced with a new one. If you continue to use the band as it is, the band may develop cracks or become brittle over time.

Notes on skin irritation and allergy	Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.
Notes on the length of the band	Adjust the band to allow a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. When wearing the watch, leave enough room to insert a finger between the band and your wrist.

Lumibrite

If your watch has Lumibrite

Lumibrite is a luminous paint that is completely harmless to human beings and natural environment, containing no noxious materials such as radioactive substance.
Lumibrite is a newly-developed luminous paint that absorbs the light energy of the sunlight and lighting apparatus in a short time and stores it to emit light in the dark.
For example, if exposed to a light of more than 500 lux for approximately 10 minutes, Lumibrite can emit light for 3 to 5 hours.
Please note, however, that, as Lumibrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the distance from the light source to the watch.

Condition		Illumination
Sunlight	Fine weather	100,000 lux
	Cloudy weather	10,000 lux
Indoor (Window-side during daytime)	Fine weather	more than 3,000 lux
	Cloudy weather	1,000 to 3,000 lux
	Rainy weather	less than 1,000 lux
Lighting apparatus (40-watt daylight fluorescent light)	Distance to the watch: 1 m	1,000 lux
	Distance to the watch: 3 m	500 lux (average room luminance)
	Distance to the watch: 4 m	250 lux

Troubleshooting

Trouble	Possible Cause	Solution
The watch stops operating.	The remaining power for driving the watch has been consumed.	Wind the mainspring according to the "HOW TO WIND THE MAINSPRING" to readjust the time before use.
The watch temporarily gains/loses time.	The watch was brought into close contact with a magnetic object.	By distancing magnetism, accuracy is recovered. Readjust the time. If accuracy is not recovered, consult the retailer from whom the watch was purchased.
	The watch was dropped, worn while playing active sports, hit against hard surfaces, or exposed to strong vibrations.	Accuracy cannot be recovered. Consult the retailer from whom the watch was purchased.
	Inspection, adjustment, and overhaul cleaning have not been performed for the watch for more than 3 years	Consult the retailer from whom the watch was purchased.
The date changes during daytime.	AM/PM is not correctly set.	Advance the hour hand for 12 hours and reset the time and date.
Blur in the display persists.	Small amount of water has got inside the watch due to deterioration of the gasket, etc.	Consult the retailer from whom the watch was purchased.

※For the solution of troubles other than above, contact the retailer from whom the watch was purchased.

Specifications (Movement)

Caliber no.	9S65
Features	Hour Hand, Minute Hand, Second Hand, Date.
Vibrations	28.800/hour (8/second)
Loss/gain	Mean daily rate*: -3 to +5 seconds
Driving system	Automatic winding type with manual winding function
Duration	For 72 hours or more. *From the state of the mainspring being sufficiently wound
Jewels	35 jewels

Mean daily rate*:is a mean value of daily rates in a condition where the movement before assembly in a case are measured in 6 positions in a fixed manner under artificially controlled environment for 12 days.
Caution：Depending on conditions of use（such as normal usage time, temperature environment, and winding state）, accuracy may exceed the above-mentioned range. Therefore, for normal usage accuracy when it is actually used, -1 to 10 seconds per day are specified as target values
※The specifications are subject to change without prior notice due to product improvement.

グランドセイコー専用フリーダイヤル
0120-302-617
受付時間：月曜日～金曜日　9:30～21:00
土曜・日曜・祝日　9:30～17:30

お客様相談室
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウオッチ株式会社
本　社　〒105-8467　東京都港区虎ノ門2-8-10
http://www.seiko-watch.co.jp/